



あじさい通信

No. 10

2019.01

～ あんしん じぶんらしく ささえあい いきいきと ～

地域での生活に役立つ情報や当センターの取り組み等をご紹介します

◆『我がまち支え合いワークショップ』（第4回）



地域で行われている活動や、地域が抱えている悩みを知り、「あったらいいな」を提案したり、自分たちでできることを話しあう場として、『我がまち支え合いワークショップ』という学習会を定期的に開催しています。

習志野市の地域包括支援センターには、第2層生活支援コーディネーターが配置されており、この学習会は、第2層協議体として位置付けています。

発行：東習志野高齢者相談センター（東習志野地域包括支援センター）

習志野市東習志野 2-10-3 地域交流プラザブレイメン習志野内 ☎047(470)0611

□ facebook やっています！ (<https://www.facebook.com/tounarahoukatsu/>)

■ ブログも随時更新中！（「八千代美香会」のHPから『ブログ』へお進みください）

□ Twitter もやっています！（「@tounarahoukatsu」で検索ください）



facebook



Twitter



グループワークの様子。地図に情報を書き込んでいます。

1月29日に第4回のワークショップを開催し、16名の方が参加くださいました。

民生委員・高齢者相談員・コンビニ・生活協同組合・配食サービス事業者・ワークスコープセンター事業団・社会福祉法人・介護支援専門員・社会福祉協議会・習志野市役所と多様な顔ぶれです。

前回のワークショップでは、「買い物に困っている高齢者が情報を入手する手段」について考え、『買い物に関する社会資源をまとめた媒体が必要』という結論になりました。

今回は、『社会資源の見える化とマップ作りの検討』を行いました。圏域の地図に買い物に関する社会資源を書き込んでいきます。「資源が少ないエリアがあるね」などの感想が出ました。

続いてマップ作りの検討。他市町村のマップや当センター作成のサンプルを参考にしながら話し合います。

色々な意見が出る中で、今回は…

- ① A3サイズ
- ② 圏域を2つに分ける
- ③ 「宅配」「移動販売」等の種類分け

という方向で資源マップを作成していくこととなりました。次回以降で作成に向けて具体的に進めていきます。



今回のワークショップには、「千葉県生活支援コーディネーターのフォローアップ研修」の視察として、千葉県内のコーディネーターの方々が多数来られました。

ワークショップ終了後には、協議体の参加者の皆さんにもお時間を頂き、視察に来られた方々と意見交換。参考になるご質問やご意見をたくさんいただきました。



2月22日（金）、プレーメン習志野・多目的ホールにて、認知症サポーター養成講座を行います。時間は9～10時の1時間。午前中の早い時間ですが、毎週水・金曜の午前8時45分から隣接の公園で行っている『プレーメンのラジオ体操』にご参加いただいたその足で、講座も受けて頂けるような時間設定となっています。

申し込みは当センターまでお電話にてお願いいたします！